



恵藤 千代子

少子化の打開策

質問

思い切った施策が必要であると思うが。

答弁 保健福祉部長

最重要課題と考えている。旧7町村の次世代育成支援地域行動計画の基本理念や目標を尊重しながら、新市の行動計画を年内に策定し、安心して子どもを産み心身ともに健やかに育つための環境づくりなど、平成18年度に実効ある事業を行いたい。

旧町村で差異のある保育サービスは平準化に努めます。第2子3歳未満児にここの保育支援事業は、県も推進しているので今後検討します。



質問

男女共同参画社会の実現について。

答弁 市長

社会のあらゆる分野において、男女共同参画社会の推進を図っていくことが重要であり、「豊後大野市男女共同参画推進条例」を本議会に上程しています。推進体制を整えていくため、基本計画を策定し、より具体的、計画的な取り組みに向けて努力します。

質問

各種審議会での女性委員や、市職員の女性管理職の登用について考えを伺う。

答弁 市長

男性、女性のバランスのとれた審議会づくりをめざし、女性委員の登用を積極的に進めていきたい。市職員の女性管理職の登用は、自治体の使命として努力していきたい。



“おやつ”は何か？ (緒方保育園)



神志那 宗作

お年寄り・障害者への福祉サービスの復活を

質問

豊後大野市は、住民3人に1人が高齢者です。高齢者が住みやすいまちにするために、高齢者憲章をつくり、敬老祝金、金婚式、敬老会補助、重度障害者医療費助成3級、手話ボランティア養成事業などを復活させてはどうか。

答弁 市長

高齢者憲章は、市民憲章の制定とともに検討します。合併で廃止した制度の復活は困難です。高齢者や障害者を、「地域ぐるみで支える」地域福祉のあり方を今後十分検討します。

子育て支援・教育条件整備を

質問

昨年の出生者は286人、死亡者は591人で、305人の人口自然減です。結婚・出産祝いを復活し、30人学級拡大、複式学級解消につとめるべきと思うが、どうか。

答弁 市長

結婚・出産祝いの復活は考えておらず、それに変わる新たな制度を総合的に検討していきたい。

答弁 教育長

30人学級拡大は、国や県に強く働きかけていきます。複式学級解消のため、上緒方小2名、小富士小2名、長谷小1名の市単独の教員を配置しています。

住民が主人公の行政を

質問

市役所に行った市民から、さまざまな苦情を聞きます。「市民への奉仕者」としての自覚を徹底すべきと思うが、どうか。

答弁 市長

合併で職員に戸惑いがあつたことは事実です。職員全員が市民の奉仕者としての自覚を高めるために、職員倫理規程を制定しました。常に市民の目線に立って、親切的な対応をするよう機会あるごとに指導を行つてまいります。 ※その他 「公立おがた病院の経営改善」



昨年まで実施されていた金婚式